



# 幼保小だより

幼小連携・接続推進コーディネーター 小瀬知里(扇山小学校)

## 合同引き継ぎ会を終えて

幼小連携・推進事業がスタートして初めての「合同引き継ぎ会」。実は、この合同引き継ぎ会も、北海道内ではめずらしい取組として注目されています。当日は、北海道教育委員会 幼児教育推進センターの方も視察にいらっしゃいました。

今回の事業を活かし「一人一人の子どもたちの引き継ぎを、より丁寧にするためにはどうすればよいか」と、真剣に考え、幼児教育施設の皆様や小学校の先生方にご相談すると、次のようなご意見をいただきました。

- 子どもたちの顔写真があるとマッチングしやすくてわかりやすい。
- 小学校の先生が「知りたいことは何か」を、教えてほしい。
- 要録を読むだけになってしまうので、事前に要録を読んでいただいて、小学校の先生が知りたいことを質問していただけると伝えやすい。

そこで今回は、ご意見を踏まえ、次のような取組をしてみました。

- 幼稚園・保育所の集合写真を持ってきていただく。
- 引き継ぎの内容を、小学校側から観点に分けて提示する。
- 時間に余裕をもたせたタイムスケジュールとなっているので、早めに終わらせず、時間通りに引き継ぎを進めていただく。
- ※幼稚園のご厚意で、事前に要録を配付してくださった園がありました。

以上4つの観点を幼・保・小に伝えた上で、合同引き継ぎ会を実施しました。

次は、合同引き継ぎ会の成果と課題です。



### 【成果】

○1日入学で撮影した顔写真を一覧表にして持参する。(扇山小も受付時に顔写真を撮影しているので、来年取り入れます！)

○こちらが知りたい内容を「集団行動」「自己主張」「健康・安全」「対人関係」「ご家庭への配慮」「基本的生活習慣」の6観点で聞き、それに答えていく方法。(一部の幼稚園より「何を話せばいいのか明確で、伝えやすい」との感想をいただきました。)

○事前に要録をいただいたことで、聞く観点を整理することができました。

### 【課題】

●「知りたい内容を、観点別に評価づけることには抵抗があります」とのご意見がありました。私も少し違和感がありました。それは幼児教育を学ぶことにより理解できる感覚かもしれませんが、このような場面でも幼小のギャップがあることを知ることができ、大変参考になりました。

●要録を事前に手渡したが、当日忘れていた学校があり残念でした…

これらをもとに、引継部会にてよりよい引継方法を検討していきます。



❓「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を「共通のものさし」として引き継ぎで活用できないか？と考えていましたが、現段階では難しいとのご意見もいただき、今回は取り入れませんでした。

これは「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が、まだ浸透していないことが課題ではないか、と考えます。今後のおたよりにて改めてお伝えしていきますので、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」が、より多くの先生の「共通のものさし」として活用でき、富良野市の「幼保小の学びのつながり」が前進していくよう、取り組んで参ります。

